

環境影響評価方法書に関する質問等

区分		番号	委員	東北クリーン開発株式会社	
				北ノ沢産業廃棄物最終処分場 第2期増設整備事業	
				質問・意見	回答(事業者)
全般的事項	覆土	1	池田	埋め立てに使用する覆土はどこから調達するのですか？また、使用する覆土のストックヤードの場所や管理方法(土砂流出防止の配慮など)についても教えてください。	覆土については、場内工事(切土)で発生した土量を流用いたします。覆土のストックヤードについては、既設及び本計画場内を3ヶ所程度(既設1ヶ所、場内2ヶ所)を予定しており、管理方法については、土質状況に基づき、検討いたします。
全般的事項	断面図	2	東	断面図について、それぞれどこの縦断面なのでしょう？平面図の中に示した方が親切だと思います。	準備書において、平面図に示させていただきます。一般的に標準図として記載するのが通例であり、本件においても地点(場所)を表示することなく標準図として記載した次第です。
全般的事項	調整池・放流水	3	池田	浸透水の排水について、集水した浸透水は、調整池に導水後に上澄水を沢へ放水する計画になっているが、大雨などによる放流水の水質汚濁が起こる可能性はないのでしょうか？もし、可能性があるとすればその対策はどのようにするのですか？	調整池の容量を確保し、放流量を調整するとともに、定期的に調整池内の堆積部や土砂を除去し、水質汚濁を抑制します。
水環境	放流河川	4	本山	鶯沢の最大水位の評価はどうなっていますか。増水により施設が影響を受け、施設の一部や調整池の沈殿物が鶯沢へ流出する可能性が考えられます。	鶯沢川は準用河川の認識であり、最終的には最上川に合流します。鶯沢川の上流部は中山町、下流部は寒河江市が河川管理者となっており、両自治体共に河川管理台帳は作成しておりません。今般、河川管理台帳がないことから、両自治体と連携を取り、鶯沢川の狭窄部も含め現地調査(河川測量)を実施しているところであります。
水環境	地下水・水質調査	5	是則	地下水については水位、流れを影響要因としており、水質については要因から外れています。地下水の水質については安定型処分場のため影響要因にならないとの条件設定と思いますが、処分場における大きな懸念は地下水の汚染にあります。地下水の水質調査は複数回実施していますか。周辺において地下水の利用が確認されているのであれば十分な回数(例えば季節ごと)行うことが大切だと思います。なお、予測、評価なくとも現況把握のみ行うということです。	地下水の水質調査は、複数回実施しております。現時点においては、周辺での地下水の利用は確認できておりません。なお、御指摘いただいた予測、評価なくとも十分な現状把握に努めます。
騒音・振動	環境騒音・振動測定地点	6	内田	場内の環境騒音・振動測定地点の選定理由を教えてください。No.1は既存搬入路と増設搬入路の分岐点付近と考えられますが、No.2の位置に設定した意味合いはいかがでしょう。	場内の騒音・振動測定地点は、工事及び存在・供用時の影響を予測・評価するための基礎情報を得ることを目的として設定しました。No.1は増設搬入道路の影響を主に把握する地点として、No.2は増設する埋立地の造成工事、供用時の影響を主に把握する地点として設定しました。

環境影響評価方法書に関する質問等

区分		番号	委員	東北クリーン開発株式会社	
				北ノ沢産業廃棄物最終処分場 第2期増設整備事業	
				質問・意見	回答(事業者)
水環境	水質測定地点	7	東	水質の現地調査地点と記載されているNo.Aは表層土壌調査地点となっています。造成工事に伴い発生する濁水が予測されるのであれば、調整池を作る予定の沢筋に水質調査地点を設定すべきではないでしょうか？	No.Aの地点では、水質調査は行わず、土質の状況を把握するために設定した、表層土壌を採取する地点となっております。造成工事に伴い発生する濁水の予測につきましては、埋立地の造成工事に伴い一時的に裸地になり、その際に強い雨により埋立地造成部の裸地から雨水とともに土砂が流出することによる濁水の発生を予測します。そのため、増設整備する埋立地の斜面から表層土を採取する計画としています。
水環境	水質調査・影響予測	8	内田	降雨時の水質の状況をNo.5で降雨時に水質調査すると記載されています。また、水質影響予測について「存在・供用」の予測時期を機械の稼働台数が定常となる時期としています。豪雨を想定した水質予測は、別途実施されることはありませんでしょうか。	「存在・供用」の水質の影響予測につきましては、予測時期を機械の稼働台数が定常となる時期と記載しておりますが、廃棄物の埋立てが定常になる時期となります。「存在・供用」の影響予測は、「工事」の影響と同様に、強い雨が降った時の影響について行います。
環境への負荷	土砂流出防止、生態系等	9	池田	増設埋立地の造成に伴い、既設埋立地の敷地面積(90,926m ²)に近い林地開発(82,101m ²)が行われる計画ですが、造成中に考えられる環境への影響に対する配慮(土砂流出防止や生態系への影響)の説明が欲しいです。	土砂流出は、工法等の検討や滑り等の安定計算に基づき、流出防止に努めます。生態系は、現地調査結果等により保全対策や工事内容の変更、供用後の監視などの要否を検討し、環境保全措置が必要である場合は、準備書で検討いたします。
環境への負荷	廃棄物確認	10	是則	埋立物は「有害物や有機物等が付着していない廃プラスチック類やがれき類等を対象としている」とありますが、このような状態を確認する方法を明らかにしてください。	展開場において目視及び作業員が熊手を使用した検査体制を取っております。
環境への負荷	廃棄物種・割合	11	伊藤	第2期埋立地の事業計画は令和12年以降かと思いますが、(記載ページの)埋立割合が異なるのは何か理由があるのでしょうか。表の見方を教えてください。	埋立割合が異なることに対しては、産業廃棄物の搬入計画が正しい埋立割合です。本事業を計画するにあたり、昨今の廃プラスチック類の「再生利用(循環)の推進」が図られる状況の中で、新たに事業収支計画を作成することとなり、廃プラスチック類量を抑えた設定としたため、計画段階環境配慮書段階との埋立割合が異なっております。
その他	運搬経路	12	池田	廃棄物運搬車両の運行経路を見ると、ルート上に楯岡特別支援学校大江校や住宅があることから、車両の通行時間については通学に支障が出ないよう時間等の配慮ができないでしょうか。	運搬車両の通行に関して通学時間帯をなるべく回避し、地域住民などへ配慮できるよう検討いたします。通行時は徐行及び減速等の安全通行の指導と周知を図ります。